

二水NSH通信

平成25. 8. 30発行

No. 4

夏終わる…。新たな気持ちでスタートを!



厳しい残暑が続いていますが、保護者の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今年の夏は7月20日(土)～21日(日)の2日間、本校の生徒会を中心とした自治活動のメインに位置づけられている二水祭の開催によって幕を開けました。「Universal 来た人すべてに残る夏」をテーマとして掲げ、1年生は企画催事に、2年生はダンス等のパフォーマンスに、3年生は模擬店にそれぞれクラス一丸となって、計画・準備・運営(発表)に取り組んでいました。当日の生徒達の笑顔や歓声には、大きな達成感や充実感が満ちあふれていたと思います。

そして、学習面での主体性を発揮する夏季補習がスタートしました。「切り替え力」を発揮するとともに、秋以降の実りの季節に向け、実力補充や苦手分野克服など意義のある日々を過ごせた生徒達が多かったのではないのでしょうか。

さて、いよいよ9月が始まります。2年生にとっては高校生活の折り返し地点にさしかかったこととなりますが、これまで培った力を学習や部活動、学校行事で大いに発揮してくれることを願っています。

人文科学コースの様子

●204H 人文科学 模擬裁判選手権大会●

8月3日(土)に、福井地方裁判所で開催されました。

本校からは、代表8名で編成されたチームで参加し、前日まで入念な準備・練習を積み重ねて本番に臨みました。

当日は、第1試合は弁護側で、対戦相手は福井県立藤島高校、第2試合は検察側で、対戦相手は中京大学附属中京高校でした。いずれの試合も一人ひとりの力や持ち味のみならず、素晴らしいチームワークを発揮して、大きな成果を得ました。



表彰式では、審査員の弁護士や検察官の多くの方々から、本校生徒の名前を挙げての賞賛のコメントを頂き、「入賞もあり得るのでは!？」と期待したのですが、残念ながら優勝、準優勝は逃しました。しかし、「チーム二水ここにあり」の意気を十二分に示すことが出来たと思います。

これまでの金沢大学での実習や学校での練習のレベルから格段に成長したことを実感し、生徒達の表情には満足感と達成感が溢れていました。



自然科学コースの様子

●205H 自然科学 RS授業●

(〇)40人が8班に分かれ、それぞれのテーマにじっくり取り組んでいます(〃)/

「二水高校近隣汚水の浄化」班の実験

「パズルを作る」班の様子



●2年生、自然科学コース・理系クラス いしかわ高校科学グランプリ●

8月17日(土)～18(日)に、地場産業振興センターで開催されました。本校は2チームで出場し、「二水crew(クル)」のチームが、2日目の実技競技総合系問題部門で見事、部門優勝を勝ち取りました。

これはものづくりの能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力等を駆使して課題解決に取り組むもので、今年は風力帆走車を作り、実際のコースを走らせてタイムを競いました。本校は、予選・本戦ともに2位以下を大きく引き離す好タイムでゴールし、会場を沸かせました。表彰式では、キャプテンが力強く感想を述べ、旺盛なチャレンジ精神と主体的な学びの姿勢を強く印象づけてくれました。

